

# 県議会だより いしかわ



石川県議会  
マスコットキャラクター  
**石若丸**  
いし わか まる

## 特色ある 農林水産物を 創り育てる ブランド化を推進

県では、豊かな気候風土のもとで特色のある農林水産物を生み出し、価値を高めるブランド化の取り組みを進めています。関係する条例も貴重な種苗の不正流出防止の徹底を盛り込み、今年4月に改正されたところです。

現在、県では「ルビーロマン」「加賀しずく」「能登とり貝」「のとてまり」「エアリーフローラ」「能登牛」「ひやくまん穀」「百万石乃白」などのブランド化に取り組んでいます。

県議会では、県の取り組みをチェックし、特色ある農林水産物が創り育てられるよう力を尽くしてまいります。

ブランド戦略推進室  
ホームページは  
こちら



ルビーロマン



加賀しずく



能登とり貝



のとてまり



エアリーフローラ



能登牛



ひやくまん穀



百万石乃白

今号の  
トピックス

- 県議会ダイジェスト Vol.1
- 石若丸が教える！1からわかる「県議会教室」

# 県議会ダイジェスト

## Vol.1

3月22日に就任した向出勉議長と安居知世副議長のあいさつと6月定例会予算委員会で議員10人が行った質疑の一部を掲載します。  
※各議員のQRコードから質疑の映像をご覧ください。

### 石川県議会議長(第103代) **向出 勉**

18年ぶり二度目の議長就任となりました。新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、県政の諸課題に積極果敢に挑むとともに、活発な議論が尽くせるよう議会の円滑な運営に努め、県勢の発展に誠心誠意全力で取り組んでまいります。



### 石川県議会副議長(114人目) **安居 知世**

議長をお支えし、円滑な議会運営と県勢のさらなる発展のため精一杯努力するとともに、石川県議会59年ぶり2人目の女性副議長として、女性や若い方々がより議会を身近に感じていただけるよう、全力で取り組んでまいります。



### **太郎田 真理** たろうだ まり 2期 自由民主党



#### 新型コロナ対策本部の機能強化・情報発信



**Q** 総務部長を長とする危機管理部門と、健康福祉部長を長とする感染症部門の二頭立て体制にして広報を総務部に移管し、素早い情報発信を図っては。

**A** 新型コロナウイルス感染症対策本部の広報については、県の広報を担っている県民文化スポーツ部が、総務部や健康福祉部等の関係部局と連携しながら、新聞やテレビ、広報誌、ホームページ、SNS等の各種広報媒体を通じて、速やかに県民の皆様に行っている。  
総務部は広報を含めた対策本部全体を総括しており、対策本部の情報発信については、平素から広報を所管している県民文化スポーツ部が担当することが適当であると考えている。

### **車 幸弘** くるま ゆきひろ 2期 自由民主党



#### 高橋川の河川改修



**Q** 高橋川の河川改修の進捗状況は。また、改修区間の上流部は、改修を行わないのか。

**A** 平成8年度より碓川合流点から曾谷大谷川までの約3.2kmで改修を進め、約1.7kmの整備が完了している。今年度は白山市陽羽里地内の護岸や掘削工事に着手することとしている。  
事業区間より上流の白山市曾谷町から高橋川放水路までの区間については、月橋大谷川など流入する支川も多いことから、治水安全度の向上が必要と認識しており、そのためにも、まずは下流部の整備促進が重要と考えている。  
今後とも、高橋川流域住民の安全・安心の確保に向けて、改修の促進に取り組んでいきたい。

### **田中 哲也** たなか てつや 2期 自由民主党



#### 雇用調整助成金の期限延長



**Q** 雇用調整助成金の特例措置の期間延長を年内いっぱいまで延長するように国へ要望すべきでは。

**A** これまで事業者の状況も踏まえ、全国知事会を通じて、上限額や助成率の引き上げなど特例措置の延長を要請してきた。これを受けて国は数次にわたり期間を延長し、今般、現在の特例措置が今年8月末まで延長されたところである。  
国は、9月以降の対応については雇用情勢を踏まえながら検討するとしており、本県としても、県内の雇用情勢をしっかりと注視しながら、特例措置の延長を、全国知事会を通じて国に要請していきたい。

### **藤井 義弘** ふじい よしひろ 7期 自由民主党



#### 輸送における環境負荷の低減



**Q** 温室効果ガス排出抑制のため、貨物列車による輸送の利用向上を図っては。

**A** トラック等で行われている貨物輸送を、環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと転換するモーダルシフトの推進は重要である。本県独自のいしかわ版環境ISOの普及を進める中で、事業者の取組例にモーダルシフトを掲げ、二酸化炭素(CO2)排出量の削減を呼びかけている。  
今年度、コマツが取り組む貨物鉄道と海上輸送の複合によるトライアル輸送について、金沢港の利用拡大にも資することから、支援することとしている。こうした取組が温室効果ガスの排出抑制や物流の円滑化のみならず、貨物鉄道の利用向上につながると期待したい。

### **石坂 修一** いしさか しゅういち 8期 未来石川



#### 今後の県政課題



**Q** 現在はコロナ対策が全てのような状態であるが、今後の県政の課題は。

**A** 新型コロナウイルスの影響により、北陸新幹線金沢開業効果の勢いが見えなくなっている。質の高い文化の集積など本県の強みにさらに磨きをかけることで、勢いを復活・拡大させ、これを3年後の県内全線開業へとつなげていく必要がある。  
加えて、国土強靱化対策や少子高齢化対策など県民生活の安全・安心の確保を図っていかねばならないことを念頭に置きつつ、まずは現下の最優先課題である新型コロナウイルス対策について、感染拡大の防止と地域経済の正常化の両立に向けて、全力で取り組んでいきたい。

### **稲村 建男** いなむら たけお 10期 自由民主党



#### 千里浜海岸保全への取り組み



**Q** これまでの千里浜海岸の海岸保全の取り組みを踏まえ、今年度はどのような対策を行うのか。

**A** 千里浜再生プロジェクト委員会において、人工リーフや海上投入などの海岸侵食対策により、「海岸全体の砂浜幅が回復傾向にあり、これらの対策を継続することが重要」との評価をいただいている。  
今年度は、羽咋地区人工リーフ2基目の整備促進、滝港沖の海底から採取した砂の海上投入、局所的な侵食に対する緊急養浜を地元関係者のご理解ご協力を得ながら実施する。  
車が走行できる長い海岸線による美しい景観を維持し、次世代に継承していくことが重要であり、千里浜海岸の再生にしっかりと取り組んでいきたい。

### **打出 喜代文** うちで きよふみ 1期 未来石川



#### 子ども・子育て支援



**Q** コロナ禍の中にある今こそ、子育て支援先進県として、財源配分を強化し、全国上位復帰を目指しては。

**A** いしかわエンゼルプランに基づき、プレミアム・パスポートや国に先駆けた多子世帯の保育料無料化など独自の取り組みを進め、子育て環境の充実を図っている。児童福祉費の一般財源額は平成6年度から令和元年度にかけて2.29倍に増えている。  
本県は早くから保育所整備に取り組み、保育所入所率が全国に比べ高かったが、近年、全国的に保育入所率が高まっていることから、相対的に順位が下がったと考えられる。今後とも安心して子どもを生み育てることができる社会の実現に向け、しっかりと取り組んでいきたい。

### **川 裕一郎** かわ ゆういちろう 3期 WILL石川



#### 若年層へのコロナワクチン接種



**Q** 治験中のワクチンを新型コロナウイルス感染による死亡例がない未成年へ接種することは、慎重に考えるべきでは。

**A** 若年層への接種は、国内外の数十万人の治験により発症や重症化予防の効果が認められ、そのメリットが副反応等のデメリットを上回ることから、国は薬事承認や接種勧奨をしている。  
若年者について、現時点で死亡例は確認されていないが、国の研究報告などによると、若年者がコロナ感染すると一定の割合で後遺症が残る可能性があること指摘されているほか、職場や家族等に感染させてしまう懸念もある。  
多くの若年層の皆さんに接種していただくことが、個々人の健康はもとより集団免疫の形成による社会全体の感染防止、経済活動の正常化のためにも重要と考える。

### **善田 善彦** ぜんだ よしひこ 3期 自由民主党



#### コロナ禍での献血への影響



**Q** ワクチン接種が本格化するが、献血に支障が出たり、接種による制限はないのか。

**A** 国によると、ワクチンを接種された方については、ファイザー社製、モデルナ社製いずれのワクチンも、接種後48時間を経過すれば献血できることになっている。ワクチンを接種しても、多くの方は献血が可能であることから、大きな影響はないと考えており、4月及び5月は目標人数を達成している。  
石川県赤十字血液センターでは、ホームページ等により、ワクチン接種後でも献血は可能であることを発信しており、今後も様々な機会を通じて、県民の皆様にも広く周知していきたい。

### **作野 広昭** さくの ひろあき 5期 自由民主党



#### 美川漁港を中心とした観光振興



**Q** 白山市や地域住民と連携した、美川漁港を中心とする地域のさらなる活性化に向けた観光振興の取り組みは。

**A** 市町の観光素材を旅行会社に提案し助言を得る会議を開催している。会議では本吉湊を散策する観光プランは、歴史ファン向けに専門的なガイド付きのツアーが喜ばれるとの助言や、フグの卵巣の糠漬けを味わう料理プランは、非常に希少価値が高い魅力的な食体験であるとの評価をいただいております。今後、旅行会社に商品化の働きかけを行うこととしている。  
新幹線県内全線開業も見据え、白山市としっかりと連携し、魅力的な地域の観光資源を最大限活用し、誘客拡大につなげていきたい。



第5回

石若丸が教える！  
1からわかる「県議会教室」

# 総務企画県民委員会と 厚生文教委員会



県議会の役割や仕事を紹介するシリーズ企画「県議会教室」。第5回となる今回は、専門的に効率よく議論を深めるために設置してある5つの常任委員会のうち、「総務企画県民委員会」と「厚生文教委員会」の取り組み内容について説明します。

## 専門的な議論を実施

### Question

県議会には、県政のさまざまな課題を継続的に審査・調査する常任委員会が設けられています。「総務企画県民委員会」と「厚生文教委員会」はどんなことを議論しているのですか？

### Answer

総務企画県民委員会は、県政の核となる行財政の適切な運営をはじめ、県民の安心・安全にかかる防災対策の充実強化、北陸新幹線の建設促進、小松空港・のと里山空港の利用促進、文化・スポーツの振興などについて政策を審査し、議論しています。

今年度は、コロナ感染防止対策の時短要請等の取り組みや分かりやすい情報発信、県税収入が減少する中での財政の健全化、災害時の円滑かつ迅速な避難の確保、移住定住への取り組みなどを議題に活発な議論を展開しています。

一方、厚生文教委員会は、県民の安心・安全に密接にかかわるテーマである地域医療の確保、少子化・高齢化対策などの健康福祉、子どもたちの学力の向上、GIGAスクール構想の実現などの教育に関する課題について、幅広く議論しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症に関する医療提供体制の確保やワクチン接種の取り組み、臨床研修医の確保、コロナ禍における学校現場の感染対策、ICTを活用した授業への対応状況、教職員の多忙化改善などについて議論を深めています。

#### 総務企画県民委員会

委員長 八田知子  
副委員長 安実隆直  
委員 太郎田真理、室谷弘幸  
不破大仁、善田善彦  
藤井義弘、和田内幸三  
打出喜代文、石坂修一  
谷内律夫

#### 厚生文教委員会

委員長 沖津千万人  
副委員長 長田哲也  
委員 橋本崇史、車幸弘  
平蔵豊志、米澤賢司  
紐野義昭、石田忠夫  
岡野定隆志、本吉浄与  
佐藤正幸

県議会の活動を伝える広報紙

# 県議会 だより

第37号

編集・発行 / 石川県議会 (年4回発行)  
令和3年7月26日発行

お問い合わせ 石川県議会事務局企画調査課

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地  
TEL 076(225)1036 FAX 076(225)1037

石川県議会ホームページ  
<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/gikai/>

石川県議会

検索



県議会に対する  
ご意見・ご提言を  
お寄せください。

県議会では、県民の声を取り入れた運営に力を注いでいます。ご意見やご提言は、下記のE-mailからお送りいただけます。ぜひ皆さまの思いを、県議会にお伝え願います。



メールアドレス

[gikai@pref.ishikawa.lg.jp](mailto:gikai@pref.ishikawa.lg.jp)